

「海外の事例に学ぶ、新しい形の産官学連携」

開催趣旨：創薬研究においても、オープンイノベーションやプレコンペティティブなどの概念が注目され、従来型の特定の企業と大学研究室が共同研究契約を結ぶといったタイプとは異なる産官学連携が模索されている。例えば、NCATS（米国立先進トランスレーショナル科学センター）では、8つの製薬企業が臨床試験で脱落させた化合物58種について、その化合物の再利用のため適応症の再目的化を推進するプロジェクトを開始している。本講演会では、米国、英国での産官学連携に直接のご経験をお持ちの講師からお話を伺うことで、日本の創薬・医療における新しい形の産官学連携を考えるきっかけとしたい。

プログラム：

13:30～14:30

城戸常雄（Stem Cell Medicine LLC, President & CEO）

「米国におけるベンチャーの立ち上げと育成方法
—米国での再生医療ベンチャーの立ち上げの経験から—」

14:30～15:30

小林久隆（NIH 米国立がん研究所 主任研究員）

「新規開発がん診断・治療法：
臨床応用に即した開発方針と治験への道筋」

小林氏の業績は昨年のオバマ大統領の一般教書演説にも引用されています。

http://teleradiology.jp/MRI/O31_oshirase/DrKobayashi/DrKobayashi.html



15:50～16:40

池田和由（株式会社レベルファイブ）

「欧州における産学連携の現状
= ビッグファーマの多くが参加するコンソーシアム EBI Industry programme を題材に =」

16:40～17:30

白井宏樹（アステラス製薬株式会社 分子医学研究所）

「企業内研究、国内産学連携および国際連携をどう組み合わせるか
= 抗体創薬インフォマティクスを例に =」

17:30～17:45 まとめと総合討論

世話人：水口賢司(医薬基盤研究所)、森 浩禎(奈良先端科学技術大学院大学)、藤渕 航(京都大学)

◆講演会終了後に懇親会を予定しています（参加費 2000 円）。そちらにも奮ってご参加ください。

日時：2013年11月15日（金）

場所：グランフロント大阪 ナレッジキャピタル
タワーB 10階 カンファレンスルーム B05～B07
（大阪市北区大深町3-1）

講演会参加費：

法人会員：無料 / 個人会員：無料 / ビジター(一般)：¥10,000

学生会員：無料 / ビジター(学生)：¥1,000

出席を希望される方は事前にwebサイト(<http://cbi-society.org/>)からご登録ください。

(HP トップから[研究集会]-[第 343 回のプログラム]>> 参加申し込みフォーム)

連絡先：

情報計算化学生物学会（CBI学会）関西部会

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学大学院システム情報学研究所 田中成典研究室内

TEL：078-803-6620 FAX：078-803-6621



講演会プログラム

